

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:平成31年2月1日

公表:平成31年2月28日

事業所名 春日井市第一希望の家

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・アコーディオンカーテンを使用していることで次の場面展開への切り替えになっている。 ・作業、言語療法は別室で行うようにしている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		・児童福祉法に基づいた人員配置を行っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・子どものマークを決め、自分の場所という視覚的に分かりやすくしている。 ・段差はなく肢体不自由児にも優しい作りになっている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている		○	・毎日清掃しているため建物は古いが、清潔は保たれている。	・定期的に換気を行うようにしていきます。 ・業者による床面洗浄を年2回行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・六部研修や毎日の振り返りミーティングを行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・保護者会を開催し、事業所の方針を理解していただいている。	・療育や支援内容について意向を聞き、今後の業務について改善を図っていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・今年度が初めての公表となる。	・今回の評価が初めてですが、今後は年1回の公表を行っていきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・外部評価は行われていないため、今後の課題としていきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・虐待研修、基礎研修の受講を行っている。	
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・家庭訪問や個別面談を行い、子どもと保護者のニーズを抽出し、職員間で検討会を行い計画書に反映させている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・契約時に保護者から子どもの状況を記入した調査票を提出していただいている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・母子通園であるため発達支援と家族支援は常に行っている。 ・夏まつりやバザーなどで地域との関わりを持つことや、園外保育では、公共のマナーやルールを守る等の内容を計画書に反映させている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・担当制をとり、保護者とのかわりの中で支援を行っている。	
適切な支援	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・年間の行事は全て担当を決めているが、目的や内容などはミーティングで話し合い、担当が中心となり活動を進めている。	

又 援 の 提 供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・年度ごとに担当を変更することで、新たな内容で行えるよう配慮している。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・子どもの状況をみながら検討会を行い支援計画を立てている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・行事については前もって確認を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・療育後のミーティングを日々行っている。 ・連絡帳を作り、短時間勤務の職員との情報共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・毎日、登園してきた子どもの様子は個人ケースに記録をつけている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・面談等を行った時や、日々の振り返りを行ったとき等、新たな課題が見つかった場合は見直しを行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者と担当職員が参加するようにしている。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		・保健師との連携がとれている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		・年1回療育支援事業で話し合う機会がある。 ・尾張北部母子通園施設交流会があり、情報交換を行っている。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・園庭開放への参加や特別支援学校への見学等行い情報を共有し、対象の子どもがいた場合は情報を提供をすることもある。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		・療育支援事業などで対象の子どもがいた場合は情報を提供することもある。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・自立支援協議会で子ども部会に参加している。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・運動会のリハーサルを見学に行ったり、園によっては異年齢の子どもとのふれあい遊びを楽しんだ。	・見学には行くが交流する機会がないので、今後交流のできる機会を作っていきます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・子ども部会に参加している。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・担当の職員が保護者と子どもに対して話し合う時間を作り、寄り添う支援を心掛けている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・母親教室や母親ミーティングで支援を行っている。	・今後は療育開始前の未通園児を対象としたプレ療育を行いながら、母親支援も行っていきます。
保護者への説明責任	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に1時間以上かけて説明し、納得していただいたうえで契約を結んでいただいている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・児童発達支援管理責任者が一人ひとりに面談を設け説明し、同意していただいている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・いつでも話し合いがもてるように時間をとり、母からの相談も別室で行うようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		・保護者会の開催と、修了児の保護者を集めたOB会を定期的に開催している。	・今後も保護者会を継続して行いながら、父親の参加についても積極的に働き掛けていきたいと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・保護者からの相談については随時行っている。	

等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・毎月幼児室だよりを発行し季節の行事を伝え、合同行事や園外保育などについてはお知らせの文書を渡している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		・保護者からの書類提出に関しては、ファイルを用意して保管するようにしている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・個人情報は厳守し、別室で相談を受けるようにしている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		・夏まつりやバザーに参加していただいている。	

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		・マニュアルに基づいた訓練を実施している。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・月に1回、水害、地震、火災、不審者を対象とした訓練を行い、そのうち年2回は消防関係者を呼んで、消火訓練、起震車訓練、煙道訓練等を行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・契約時に事前に聞き取りを行い、調査票にも記入をいただく。情報は職員間でミーティング時に共有している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・母親からの申告を受け、他の食材への対応を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・怪我につながりそうな場合など、ヒヤリハットを申告し情報を共有することで、安全対策につなげている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・年に1～2回研修を受講し、伝達研修を行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		・身体的な状況を把握し、主治医からの意見も参考にしながら、保護者との面談を重ねながら支援方法を考えている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。